

寄贈品コーナー 「新資料展(人文部門)」

2008年4月11日(金)～5月7日(水)

4月と5月の寄贈品コーナーは、平成19年度に寄贈された資料から展示します。今月ご紹介する人文部門では、民俗分野27件85点、歴史分野9件50点の計36件135点の寄贈をいただきました。

民俗資料では、19年度に御神輿2基と万燈といった祭礼関係の大型資料が寄贈されました。御神輿は北金目の中久保交友会と中原の中宿町内会の寄贈で、すでに常設展示しています。万燈は馬入文化財保存会より、大中小三つのうち大万燈と中万燈が寄贈さ

れました。戦前、神明社の祭礼では三本の万燈を担いで歩き屋台の巡行を先



神明社例祭で屋台を先導する中万燈と端万燈

導しました。大万燈は重量が16貫目(約60kg=昔の米俵と同じ)あり、力自慢が担ぎました。戦後は屋台の巡行が途絶え、万燈も神社の倉庫に眠っていたのですが、平成16年に古い万燈をモデルに新しく製作し、端(小)万燈と中万燈が山車を先導するまでに復活しています。

こうした祭礼関係の資料は、従来あまり寄贈が無かったのですが、平成17年度の特別展「平塚のお祭り」がきっかけになり、様々な情報やモノが人を介して出入りするようになりました。特別展は到達点ではなく、さらなる展開への出発点でもあることを実感しています。

他に寄贈品コーナーでは、河内三橋講中の庚申講表具、庄治郎丸で大漁時に立てたトモジルシという船旗、昭和20年代の蚊取線香、マッチ箱と箸袋のコレクション、防空ずきんなどを展示します。



庄治郎丸のトモジルシ